

平成29年度 第4回高尾山応援基金運営協議会

議事録

日 時 平成30年3月15日(木)

午後5時30分 開会

場 所 高尾599ミュージアム2F会議室

平成29年度4回高尾山応援基金運営協議会議事録

平成30年3月15日(水)

午後5時30分開会

高尾599ミュージアム2F

1. 開 会

挨拶 会長 大野 彰

高尾山応援基金は当初NHKなどで取り上げられ脚光を浴びて発足した。高尾山そのものは永遠に続く山なので、焦らず単年度で成果・結果を出すのではなく、皆と一緒に時間をかけて議論をし、高尾山の活性化のために寄与出来ればと思うので、地道な活動として議論をしてほしい。特に1300年の歴史を持つ薬王院があるので、高尾山応援基金によってより快適に利用してもらうためにお願いしたい。

2. 委員出席人数

事務局 定足数20名中10名出席で協議会は成立。

3. 会 議

事務局側	司会進行	総務課長	及川 純一
委員座長		法政大学教授	杉崎 和久

- (1) 高尾山応援基金運営協議会役員選出について(案)
- (2) H29.11.11～12もみじまつり事業報告について
- (3) 2018年度事業計画について(案)
- (4) その他(若葉まつりイベントの取組みなど)

事務局 資料の確認後、協議会要綱に従い、議事進行は座長の杉崎先生に依頼する。

杉崎座長 議題が4点あるので順番に進める。議題1の役員選出について事務局より説明をお願いする。

事務局 現在会長は選出されているが、副会長、会計監査の2名が選出されていないので、第4条第4項及び7項により、副会長は会長が指名する。会計監査2名のうち高尾山応援基金を監事するとあるので、会長からの推薦案に基づき皆で協議をお願いしたい。

杉崎座長 特に異議が無ければよろしいか。議題1は事務局案のとおり承認を頂いた。ありがとうございました。よろしく願います。

事務局 なお、小宮委員については本日欠席。

- 杉崎座長 続きまして議題2のもみじまつりの事業報告を事務局に願います。
- 事務局 去年は8月に山の日イベントを実施。もみじまつり期間の11月11・12日の2日間、場所は清滝駅前・山頂の2カ所で募金活動を行った。PR内容は、説明パネルの展示、リーフレットの配布、募金の説明など。
- また、杉崎先生に山頂でアンケート調査をして頂き、清滝駅前では8プリンセスやほっちお〜じによるPR活動を実施。
- 599 ミュージアムでは、寄付つき商品の紹介やノベルティの配布を行った。協力団体は、京王電鉄さん、高尾登山電鉄さん、法政大学等オープン型の応援をいただいた。
- 募金額については、
- 山頂募金額:11日 35,956円 12日 49,593円 計 85,549円
- 清滝駅前では、11日 9,221円 12日 27,998円 計 37,219円
- もみじまつり期間で、合計122,768円の募金額を集めることが出来た。
- 事業報告については以上。
- 杉崎座長 当日お手伝い頂いた方で感想があればご意見を。
- アンケートだが、インタビューを何人かしたが途中で辞めてしまった。
- 山の日に学生に手伝ってもらい、高尾山へ来る頻度、目的・何処に行ったかや課題も聞いたが、具体的にどれくらいの重みのある課題かどうかを含めて質問をしたところ、敢えて聞かれるから答えたが、今の高尾山には十分満足しているという意見がほとんどであった。今までは、課題にどう対応していくかを考えていたが、皆さん満足しているので、より良くするにはどうしたらいいかという問い方に変えたほうが良いと感じた。
- 大野会長 募金箱が小さくて目立たない。イベントなどで人手があるときは良いが、のぼりなど作り、目立たせたほうが良いと思うが市はどう考えているか。
- 橋本課長 人がいて着ぐるみがあるときは良いが、のぼりあったほうが分かりやすい。
- 大野会長 募金活動をしているという意思表示にもなる。出来たらそうしてほしい。
- 杉崎座長 今の意見には2つあり、1つはイベントの時には人がいて1回で10数万円くらい集まるが、日常的に置いてあるだけでは応援基金が何かが伝わらないという課題がある。トータルの数字は後で説明があると思うが、2つ目の議題は報告なので意見が無ければ次に進みたい。
- 次に3番目の議題、2018年度事業計画案を事務局に願います。
- 事務局 前回前々回まで募金活動を行ってきて募金が集まった。それを何に使うかについて議論した結果を基に、今回30年度の事業案について先生からアドバイスを頂き事務局で作った。今後行っていく事業については、リーフレットに基づいて考えた。活動支援事業、参加型事業、課題解決事業の3つに皆の意見が集約されるのではと考えた。募金活動については従来どおり。

これまでの山の日、もみじまつりイベントのほか、599ミュージアム・むささびハウス・清滝駅前前の3か所に募金箱を置き、山の日は合計288,787円、9月の募金箱9,224円、10月は未回収、11月のもみじまつり122,768円、11月から2月にかけては各回収した金額は資料のとおり。募金箱は累計32,810円、また599ミュージアムの寄付つき商品は、年度末に精算をして金額が確定する。150万円は市からの出捐金、今までのイベントや募金箱に444,000円ほどで1,945,370円が収入。支出は初期経費、イベント経費や事務局を差し引くと1,550,073円という状況。この金額に基づき、30年度事業についての3つの事業の内容案を考えた。

まず、活動支援事業については、目的が高尾山の魅力を未来に継承するという大きな目的があるので、普段から魅力を高めている団体には活動費の助成を行い活動支援する。対象は高尾山で活動をしている団体で、選定方法は自薦・他薦・推薦・公募にて行っていきたい。次に高尾山で活動をしている団体を調べたので参考にしていきたい。

続いて、参加型の事業だが、高尾山の魅力を未来につなぐ担い手を創出する目的で、「高尾山写真コンテスト」を行ってはどうか。経費を掛けずに、若者たちに自由に出してもらおうコンテストをしたいので、インスタグラムで高尾山の写真コンテストを開き、これにより応援基金の啓発に繋げたい。金額については、企業協賛のノベルティグッズを賞品として金額のかからないようにしたい。

次に外国人のためのワークショップだが、インバウンドで外国人が多いので、高尾山登山のマナー・付き合い方などワークショップを開催したい。仮称だが「外国人高尾山の付き合い方」で金額は30,000円程度予定、対象は短期留学生などを考えている。

課題解決事業では外国人を対象に情報発信する予定だが、具体的に決まっておらず、協賛金から逆算をして100,000円程度と考える。

募金活動については、若葉まつり、山の日、もみじまつりと会長から提案のあった節分会に出してどうかという意見を取り入れ、年4回出来るのではないかと提案。

その他として、事務局の運営費として100,000円を計上している。インターネットのホームページ開始資金は、情報発信をしていくうえで活動内容を周知し募金の説明責任を果たしていく意味で提案したもの。

31年度に向けての参加型事業として、高尾山の見どころを紹介し安全な登山実現とリピーター育成として、初心者向けの山歩き教室を考えた。30年度の事業については以上。

杉崎座長

金額の考え方を補足すると、今年度スタートの予算の時は、募金として入った金額は関係なく、市からの150万円を元に予算を積んできたが、それだと無くなる一方なので、まず一年目は寄付を集め、一年分の集まった寄付を使って翌年の事業の予算に充てるという考え方で昨年議論した。3月締めなのでまだ増えることを期待しているが、決算ではなく途中段階。概ね40万円近いお金が一年で集まったので、これが翌年の事業のボリュームとして想定するという事でスタートしている。

40万円ぐらいと考えて、事務局の運営費10万円と、ホームページがないので管理し

やすいものを作るなどのお金を引いてみると、次年度 20 数万円という規模になる。次に寄付をしてくれた方からするとどう使われたかが問われてくるので、限られた金額の中で事務局と相談した結果が本日の案。もっと良いアイデアがあれば変えていってもいい。イベントで小口の寄付を集めているが、大口の寄付回りをしていないので、実績を重ねながら次のステップとして回っていく。この額だと何か出来る金額ではないので準備段階でこのような案を事務局で作った。

感想も含めて質問、ご意見を。

佐戸副会長 あまり慌てず少しずつ前に進んでいったほうがいい。

杉崎座長 事務局体制は脆弱で、今あるネットワークと資源の中で、これくらいは出来そうだという本音のボリュームで考えたい。山の日ともみじまつりの日に話をしている中で、最初は外国人の方のマナーが悪いという話があったが、マナーが悪いのではなくマナーを知らない。八王子は大学も多いため留学生なら安くでき、課題につながり分かりやすいテーマで行おうと考える。

志村委員 外国人については、協会でも来年度アンケート調査をやる計画でいるため、それらをワークショップに反映できると思う。

杉崎座長 これを基に柔軟に皆に相談しながら進めていくという趣旨でよろしいか。
一部予算なしで企業からいただきたいと書いてあるが改めてご相談する。
今日に限らずご意見等あれば事務局にご相談をしてほしい。
続きまして、4 番のその他を事務局にお願いする。

事務局 早速だが、新年度の若葉まつりが 4 月 7 日から 5 月 27 日まで行われる。
小宮会長が実行委員長として商店街で行われる毎年恒例の行事。高尾山の麓で行われるので、この機会に高尾山応援基金のPR活動を行ってこうと考える。
若葉まつりでの募金活動候補日として、今回は 5 月 19・20 日頃に募金活動が出来ないかという提案。

PRのイベント概要については、従来のいちょう祭り、山の日イベントなどを継続した形で募金活動を行いたいと考える。場所としては、清滝駅前の舞台の付近と高尾山山頂で行いたい。

主催は運営協議会が行い、PR内容は、啓発のための展示、リーフレットの配布、募金の説明、599 ミュージアムで販売している寄付付き商品の紹介などを考えている。ついでには、人的に厳しいため、企業にも若葉まつりの募金活動への参加協力と、ノベルティの提供協力を頂きたいという趣旨の提案。

杉崎座長 協力をお願いしたい。

ノベルティは人気で、家族連れなどは募金の呼び水になるので、山関係、子供の好きそうなものの提供を頂けると心強い。

大野会長 清滝駅前と山頂という事だが、599 ミュージアムでは実施しないのか。

事務局 山の日については、599 ミュージアムの主催なので行ったが、若葉まつりは麓のイメージが強いのと、陣容が充実すれば増やしたいと考える。

杉崎座長 山の日イベントをやっていたという事もあるが、どちらが良いか。

大野会長 催しとは関係なく合間に声をかけて募金をするを想定しているのだろう。体制が整わないなら仕方がない。

橋本課長 若葉まつりでは5月の19・20日に山頂と清滝駅の2か所で募金活動行い、もみじまつりと同じイメージでという事で良いか。

杉崎座長 3か所でやるのは難しいが、客層が違うかもしれないので、できれば599でやってみるという方法もある。清滝駅と山頂は層がかぶっていないか。

事務局 もみじまつりのイベントの結果を見てもらえれば、山頂は催し物がない中でたくさん集まっているので期待が出来ると思う。また予定が19・20日になった理由は、もみじまつりにしても、山の日にしてもはっちお〜じを出して、出来るだけ力を借りてやりたいので、確保できる日程で設定したい。
今のところ確実に確保できる19・20日で考えている。

杉崎座長 清滝駅は、はっちお〜じが出るという事が前提なのか。

事務局 はっちお〜じがいることで足を止め募金に繋がる。

杉崎座長 ありがとうございます。

船江委員 まだ具体的ではないが、5月20日は9時20分から東京都の緑の募金予定。

橋本課長 お互い邪魔をしてもいけない。場所はどこか。

船江委員 清滝駅。緑の募金も具体的に調べるが、時間をずらすとか場所を変えるとか。

橋本課長 例えば緑の募金があるなら山頂と599ではどうか。

杉崎座長 日程の話なのでなるべく把握しておきたい。

船江委員 緑の募金は商店会と関係ないので確認をして連絡する。

杉崎座長 早急に調べてご連絡を。議題は4点終わった。
本来であれば次年度の事業計画を話すところだが、基金の目的がまだ明確でない。

佐戸副会長 高尾山で活動している団体とあるが、私は全く何をどうやっているのか知らない。どこから出てきたのか。

- 事務局 むささびハウスから入ってきた情報で、把握している高尾山で活動している団体。
- 橋本課長 情報自体もまだ充分ではない。皆からも推挙頂きたい。活動内容を見て相談をしていきたい。森林パトロール隊が入っていない。
- 杉崎座長 募集するという事だが、スタート時は顔が見えている関係の中で応援をし、そのことを周知することが良いと思うので、新しく活動しているところがあれば事務局まで連絡をしてほしい。
事務局で用意した議題は全て終わったが、そのほか何か意見等あるか。
- 橋本課長 高尾関係者が集まっているので、2つ紹介をしたい。
まずは、5つある八王子のライオンズクラブのうち東京八王子高尾ライオンズクラブが創立25周年を迎えた。その記念事業の一環として大きな石でできたモニュメントを八王子に寄贈するという話がある。高尾山口駅を出て公衆トイレがあったところが東海自然歩道の起点で、終点の関西にもライオンズがモニュメントを置いている。一番大きい石は3.5トンの3つの大理石が設置され、石にはライオンズマークのほかに599ミュージアムも掘ってありPRにもなる立派なものを頂いたので、通るときはぜひ見てほしい。
もう一つは、東京都観光局が主導をして高尾地区自然公園管理運営協議会で、自然公園のビジョンが昨年策定され、それを基に高尾の管理計画を作るという事で高尾関係者が集まり、東京都が取りまとめをしている。高尾山でのルールを決めようという話が出て、また進行具合によっては皆にもご報告する。今東京都を中心に管理計画を策定する中で、高尾山に上る一般市民、都民へも、高尾山登山ルール決めをここで見直そうという動きがあるので、応援基金にも関係する事かと思ひ話しをした。
- 杉崎座長 ありがとうございます。他によろしいか。
- 事務局 今日副会長が決まったので一言お願いする。
- 佐戸(博)副会長 少しでも高尾山が良くなるようにバックアップしていきたいと思うのでよろしく願いする。
- 林監事 高尾商業協同組合の林で、この度監事を受けた。よろしく願いする。
- 事務局 次回は新年度になる。決算があるので、杉崎座長とも相談して日程調整をして連絡する。若葉まつりについても日程調整があるので、お願いについては再度精査して送るので協力をお願いする。
以上で第4回高尾山応援基金運営協議会を終了する。

協議会委員出席者名簿

出席委員	欠席委員
1. 大野 彰 委員(会長)	1. 尾形 功 委員
志村 勝 委員	2. 加藤 潔英 委員
2. 船江 栄次 委員	3. 天野 守 委員
3. 藤本 雅史 氏(代理)	(坂口 俊章 委員)
4. 林 康男 委員	4. 小宮 猛 委員
5. 佐戸 博 委員	5. 山本 通陽 委員
6. 屋代 忠幸 委員	6. 石井 征二 委員
7. 滝本 慶三 委員	7. 佐戸 勝一 委員
8. 杉崎 和久 委員(座長)	8. 松本 晃一 委員
9. 橋本光太郎 委員	9. 増田 茂 委員
	10. 青木 一浩 委員
10.辻 綾氏(代理)	(高橋 徹雄 委員)